

RPA概要①

RPAとは「Robotic Process Automation」の頭文字をとったものであり、そのまま翻訳すれば「ロボットを用いた業務の自動化」という意味になります。

「ロボット」とはいつでも工場等で働くものではなく、RPAにおける「ロボット」はパソコンの内部で人間の仕事を代行してくれる、いわば「ソフトウェアロボット」を意味します。

RPA概要②

ロボットは人間が日々行っているルーティンワーク（定型業務）を代行します。

ホワイトカラーにおけるルーティンワークに割く時間はじつに5割程度と言われており、RPAの導入によって、より重要な仕事に集中できる働き方にシフトできます。



今後も業務改善などのテーマで、皆様のお役に立てる情報提供・セミナーを開催致します。また、「RPA」について関心が御座いましたら担当営業まで問合せ願います。



先日、県内で初めての「RPAセミナー」を開催し、大変ご好評をいただきました。現在、注目されている技術だけに、感心の高さを垣間見ることが出来ました。

BSS通信

～2019年03月号～

今なお多くの傷跡を残す東日本大震災から8年が経とうとしています、少しづつ震災の記憶が薄れてきてしまっていると感じる方も多いのではないのでしょうか？
 忘れない！風化させない！これが一番の防災なのかもしれませんね。
 さて、年度末になり、何かと平成最後と言われる今日この頃ですが、元号が変わろうとも、時は進み技術も日々進んでいます。ロボットが事務処理？RPA？
 技術の進歩で事務処理の効率化を図ってみてはいかがでしょう？

国内家庭用ルータの6割弱にセキュリティ上の問題が発覚！

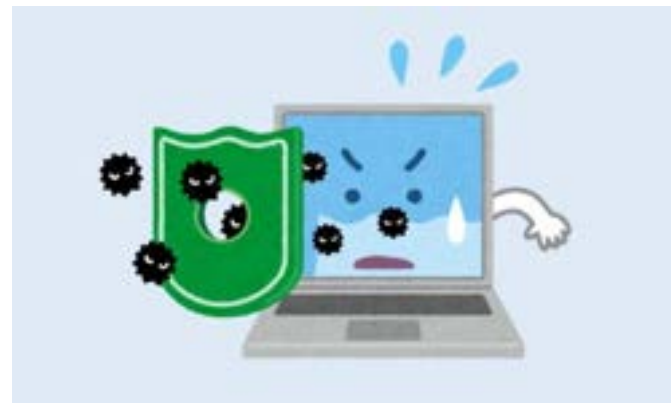
国内における家庭用ルータの6割弱に、認証や脆弱性といったセキュリティ上の問題があるとの調査結果をAvastが公表した。(Avast(アバスト):ウイルス対策ソフトの会社)

ホームネットワークにおいて脆弱性を検出する「Avast Wi-Fi Inspector」を利用し、ユーザーによるスキャン結果を取りまとめたもの。(全世界1100万台のルータ、5600万台のデバイスが調査対象)

国内の世帯において脆弱なデバイスの割合がもっとも高かったのは「プリンタ」で42%。次いで「ネットワーク機器」が37%だった。さらに「メディアストリーミング端末(13%)」「防犯カメラ(5%)」「NAS(1%)」と続く。

ルータについては、ソフトウェアに脆弱性があったり、脆弱なパスワードを利用しているケースは、国内で57%から問題が検出されたという。

ルータ・デバイスが攻撃されて乗っ取られると、サイバー攻撃の駒として、利用される事案が度々確認されています。



パスワードは、購入時の初期設定内容から任意のものに変更設定して運用すべきなので、一度会社やご自宅の機器点検を行ってみてはいかがでしょうか？

機器の初期パスワードで多いのが「空白(何も入れない)」や「password」です。また、オリンピック開催に向けて、政府がIoT機器(インターネットに接続した家電)へのサイバー攻撃調査と称し、会社や家庭にインターネット経由でチェックを行うという話があるのをご存知でしょうか？
決して他人事の話ではありません！

お問い合わせ
株式会社ビー・エス・サイトー

TEL:018-865-7400

FAX:018-865-7401

担当:澤木